

森の…

いちばん!! 「輝く肌」

那須平成の森スタッフが思う、森の中の「一番●●なもの」を取り上げ、独自の目線で紹介します。



自生する多くの樹木が落葉樹である那須平成の森は、雪の降る季節になるとほとんどの木の葉が落ち、森の見通しがとても良くなり空が開けます。そんな冬の森で陽の光を照り返して、白く輝いて見えるのがダケカンバ。



樹木には細胞分裂して幹を太くする「形成層」のような生きた部分と、樹皮や木質部のような細胞が死んだ部分があり、細胞が死んで柔軟性を失った樹皮は、乾燥や樹が太くなる時の収縮に耐え切れなくなると剥がれ落ちていきます。

ダケカンバが輝いて見えるのは樹皮が剥がれ易く、表面が滑らかに保たれる為で、この剥がれ易さは樹種によって違い、そのまま残る種類も有れば、ダケカンバなどは風に吹かれれば剥がれてしまう程です。

那須平成の森を代表する樹、ダケカンバの輝きを見に、雪の森に出かけてはいかがですか？（檜山）

那須平成の森「フォレストカフェ」

那須平成の森では、地元のコーヒー屋さんに出店して頂いています。今回は、4店舗のうち、3店舗目のコーヒー屋さん「WRRD Design(ウィルドデザイン)」をご紹介します。

冬の間カフェはお休みとなりますが、今年は冬季も毎週日曜日に「WRRD Design」さんにご出店いただくことになりました！（来年度冬季は未定）

「WRRD Design」ってどんなお店？

このスペシャルティコーヒースタンドの代表は、実は那須平成の森インタプリターでもあるんです！提供するものにもこだわっておられ、持続的で透明性のあるストーリーを意識した焙煎所などから豆を仕入れ、SDGsの取り組みにも配慮されています。

WRRDさんのコーヒーを飲ませてもらうと、「コーヒーって面白い！」と感じます。挽いた後に発酵した様な香りが漂うものや、コーヒーの果実の部分を抽出したものなど…。コーヒーの多様性や面白さが存分に伝わり、飲むだけでは見えない部分まで見えてくるお店です。



出店者 丹野 寛之さんより一言！

インタプリターとして3年目を迎え、更なる一歩としてコーヒー屋として活動することを決めました。

「スペシャルティコーヒー」との出会いから、多種多様なコーヒーの特徴ある豊かな風味や味わい、一杯のコーヒーの裏側にあるストーリーに心惹かれ、その美味しさや面白さを多くのお客様に届けられれば、と思っています。コーヒーの奥深い魅力の世界。その扉を少しだけ開けてお待ちしております。



森ことば

世の中にあふれている様々な言葉（偉人の言葉、名著や作品のフレーズ、流行語、ことわざや四字熟語など…）の中から毎号一つを取り上げ、インタプリターが那須平成の森の自然から、お題の言葉を受けて感じたものを探し、写真で語るコーナーです。

終わりよければ全てよし



今回の
お題

このことばを辞書で引くと、「締めくりがうまくいけば、途中の過程がどうであれ問題にならない」という意味だと出てきます。これは言い換えれば、日々の中で、大きな失敗や落ち込むことがあっても、最終的にそのことも含めてポジティブにとらえる事ができれば「よし！」ということなのではないでしょうか…



虫の一大ミッションである「羽化」。これから子孫を残せるかどうか、油断も隙も許されない…。はずですが、選んだ場所、そこですか！？セミからチョウへ、命のバトンタッチ。

無事に羽化を終えて、笑い話となれるのか。その結果は、この通信のどこかに載せていきますので、探してみてください！(丸子)

自然の循環の中では、結末がどうであったか…が重要な時もあるナスかねえ。

終わりよければ…あれ？このコーナーもしかしてこれが最後ナスか？



「冬虫夏草」をご存じですか？那須平成の森でも見かける虫に寄生するキノコの仲間です。

いつ寄生するのか分かりませんが、種類によって中国では漢方として使われたり、日本では「生物農薬」として利用されたり…。

過程はどうあれ、結果的に人の役に立つ。そんな不思議な生き物を見つけるたび、結末はどうなるか分からないなあと、実感します。(西垣)

私がこの言葉から連想したもの…

それは「泉（出水）」です。山に降った雨が地面に染み込み、地下水となって地上に出てくるところ…。

森の中では様々な生きものが日々を闘い、時に命を落とし、最終的には土に還っていきます。この水はそんな生き物たちの多様な「終わり」を含んでいて、それが新たな命を育む…そんなことを考えていたら、これまでよりもこの言葉が重みを持って感じられました。(小鷹)



自然の中で生きる生き物の生き様や、終わり方…。可哀そう、と思ってしまうかもしれないけれど、どんな「終わり」も、次の「始まり」へと繋がっていくのね。